



株式会社セブン&アイ・ホールディングス

株主・投資家との対話状況

2026年5月

株主・投資家との対話状況

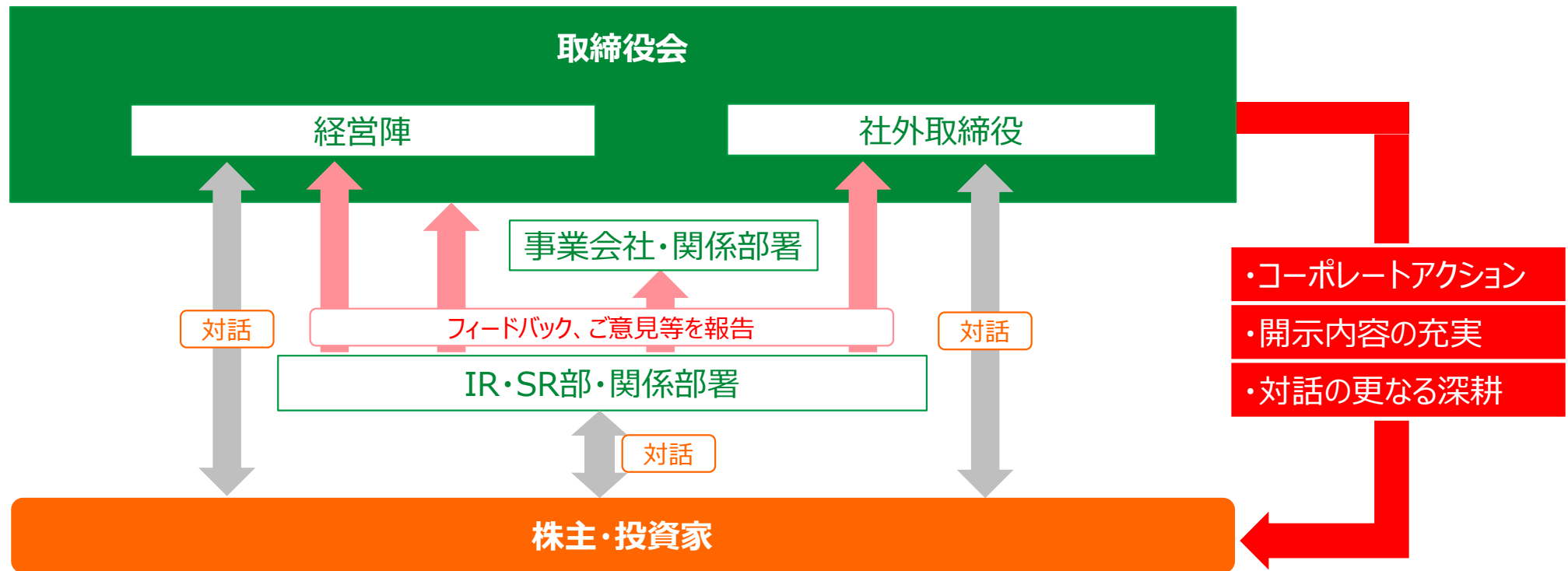
私たちは、株主・投資家の皆様とのエンゲージメントを、株主価値・企業価値の向上につながるための重要な取り組みと位置付けています。

株主・投資家の皆様に、グループの目指す姿の実現に向けた経営戦略についてご理解を深めていただき、適正な評価をいただけるようIR・SR活動に取り組んでいます。

IR・SR活動方針 (<https://www.7andi.com/ir/management/governance/shareholder.html>)

投資家エンゲージメントによる企業価値向上サイクル

- 経営陣及び各事業責任者は、個別面談、海外ロードショー、グループミーティング、IR Dayなどを通じて、国内外の株主・機関投資家との対話機会を設けています。
 - 株主・機関投資家よりいただいたフィードバック、ご意見等は、定期的に経営陣・取締役会へ報告し、取締役会における議論を経てコーポレートアクションなどに活かされています。
- 投資家エンゲージメントによる企業価値向上サイクル



経営陣・取締役会へのフィードバック

フィードバックの機会	回数	主な内容
四半期定例報告	4回	アナリスト業績予想、株価動向などについて報告
決算説明会状況報告	4回	アナリストレポートに加え、参加者の主な関心事を報告
海外ロードショー状況報告	2回	株主・投資家からの主な関心事・ご意見や対話内容などについて報告
IR Day状況報告	1回	アナリストレポートに加え、参加者の主な関心事を報告
その他報告	適宜	株主・投資家からの主な関心事やご意見などについて報告

株主・投資家との対話実績（2025年度）



対話の機会	実績	活動状況
決算説明会	4回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第1・3四半期：CFOより説明 ✓ 第2・4四半期：CEO、CFOより説明
グループ戦略説明会	2回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2025年3月：「マネジメント施策に関するアップデート」を発表し、次期CEOが説明 ✓ 2025年8月：「7-Elevenの変革」を発表し、CEOが説明
グループミーティング	18回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 四半期毎にCEO、CFOおよび各事業責任者が参加 (アナリストや機関投資家が参加し、延べ279社との対話を実施)
証券会社主催カンファレンス	8回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CFO、IR・SR部が参加し、機関投資家延べ51社との対話を実施
IR Day	1回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2025年10月に開催 ✓ CEO、CFOおよび各事業責任者が参加し、中長期的なグループ戦略やそれに沿った施策について紹介
海外ロードショー	3回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CEO、CFOおよびIR・SR責任者が北米・欧州・シンガポールの機関投資家を訪問し、当社グループの戦略などについて説明するとともにフィードバックを受領。機関投資家延べ39社との対話を実施
個別面談 (国内機関投資家等) (海外機関投資家等)	549社 (287社) (262社)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IR・SR部に加え、必要に応じCEOやCFO、関連部署の責任者が出席し、戦略やサステナビリティの取り組みについて対話を実施
事業説明会	1回	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (株)セブン-イレブン・ジャパンの商品本部長から商品政策や取り組みを説明

主な関心事項



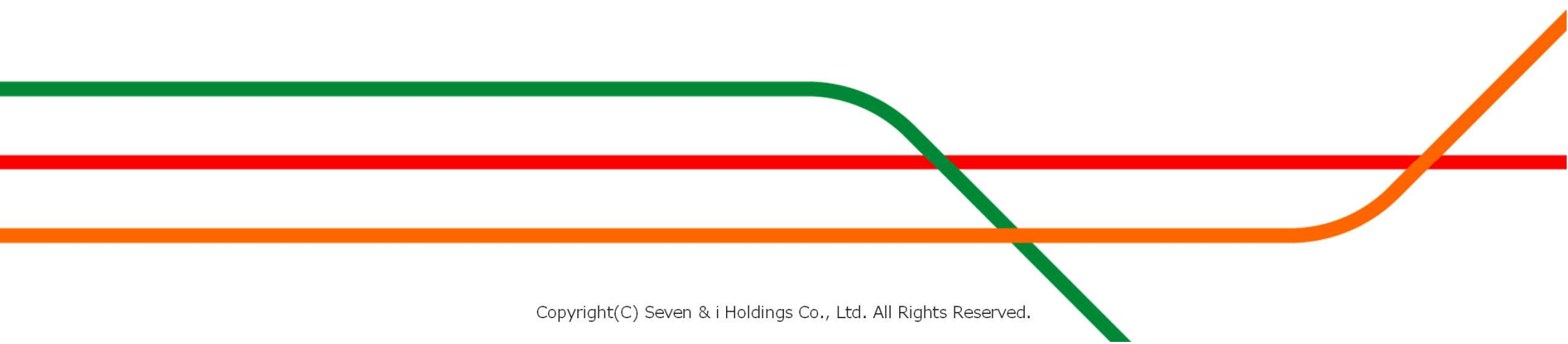
		具体的な内容
マネジメント施策		<ul style="list-style-type: none"> ✓ SEIのROIC、EBITDA改善策について ✓ SEJの回復度合い、出店の実現性 ✓ SEIのIPOの意義とその条件
株価評価・株主還元		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 株価評価に対する認識について ✓ 株価・資本コストを意識した経営（取締役会での議論、資本配分の考え方）
サステナビリティ 関連	環境	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気候変動問題への対応について ✓ 自然資本に関わるリスク、機会と対応策 ✓ 生物多様性の組み込み、プラスチック削減・食品ロス削減の取り組み、食品の認証調達比率の引き上げ ✓ ESG開示範囲の見直しについて
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 賃上げ方針、生活賃金の考え方 ✓ 教育・スキルアップ支援、従業員エンゲージメント向上施策 ✓ 人権デュー・ディリジェンスの取り組み ✓ フランチャイズ支援（採用・研修、外国人社員の育成等）
	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カルチャー変革、取締役候補者の選出プロセス、女性取締役比率目標への対応 ✓ 報酬ガバナンスについて

対話による成果

- Q 1. 日本と米国の役員報酬制度が整合しているか分かりづらい。
2. 株主価値と連動するような報酬制度に見直してもらいたい。

A 上記のような株主・投資家の皆様からのフィードバック・ご意見などを踏まえ、2026年5月に新たな株式報酬制度を導入しました。

1. 当社及び主要事業子会社の業務執行取締役等に関する、グローバルで統合された共通報酬方針を策定。この共通報酬方針に加え、株主・投資家の皆様の注目点を中心に全面的に当社役員報酬方針を改正しました。報酬委員会はこれに基づき、当社及び主要事業子会社の業務執行取締役等の報酬について統一的にモニタリングを行う。
2. 株主価値と役員報酬の増減が連動することによる規律付けを強化（Pay-for-Performance Alignment）
継続的に株主との利益・リスクの共有を促進するために事後交付型株式報酬（RSU）を付与
株主との価値共有を長期的かつ持続的に確保するために「株式保有ガイドライン」を新設し、取締役は株式保有を義務付け



Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.